

○プログラム（コース）名：神経内科専門医育成コース

○プログラムの概要

神経内科専門医育成プログラムは、日本神経学会が取り決めた受験資格が得られる最短の卒後6年の臨床研修で、神経内科専門医を取得することを目的としたプログラムです(*1)。

神経内科専門医を取得するためには、認定内科医(日本内科学会認定医制度による資格認定試験に合格すること)であることが必須となります。認定内科医を取得するために内科系の研修をもう少し行いたい、あるいは他科(脳神経外科、小児科、リハビリテーション科等)でも研修を行いたいという希望がある場合には、最長で1年の研修期間をとることが可能です(4ヶ月単位で1~3科)。各個人の希望にそった研修プログラムをつくる予定でいます。

(*1) 日本神経学会神経内科専門医

[受験資格:要約]

(1) 卒後6年以上で受験年の5月末日において学会の会員歴が3年以上あり、初期研修をふくむ臨床研修を6年以上行った者。

(2) 認定内科医であること。

(3) 研修内容: 次のいずれかの条件を満たすもの。

① 神経学会の認定した教育施設で3年以上。

② 神経学会の認定した教育施設で2年以上と教育関連施設で1年以上。

○各年度の研修内容(例):

(神経内科研修)

1年目	臨床神経(病棟)・神経救急		
2年目	神経生理研修	神経放射研修	神経病理研修
3年目	教育関連病院での研修(*2)		
4年目	臨床神経(病棟・外来)・神経救急		
5年目以降	神経内科専門医として次のステップへ		

(神経内科+他科)

1年目	臨床神経(病棟)・救急	他科研修(A)	他科研修(B)
2年目	他科研修(C)	神経放射研修	神経生理研修
3年目	教育関連病院での研修(*2)		
4年目	臨床神経(病棟・外来)・神経救急		
5年目以降	神経内科専門医として次のステップへ		

・(*2)教育関連病院

国立精神・神経センター(神経内科)

都立神経病院(神経内科)

秋田県立脳血管研究センター(神経内科、脳卒中診療部)

公立昭和病院(神経内科)

都立荏原病院(神経内科)

・神経生理研修、病理研修、放射線研修は、教育関連施設にて行うことを予定しています。

・上記研修スケジュールは、1例であります。各個人の希望を聞いて研修スケジュールをつくりたいと考えておりますが、希望があれば国内および国外留学も考慮します。

○週間スケジュール:

火曜日	AM8:00～ PM	モーニングカンファレンス(新患紹介) 神経生理検査(筋電図、末梢神経伝導速度検査等)
木曜日	PM5:00～	脳波カンファレンス(岩田先生:イワタクリニック)
金曜日	AM9:30～	内海助教授回診
土曜日	AM9:30～	内海助教授新患診察

○取得できる資格:日本神経学会専門医、日本内科学会認定医、日本脳卒中学会専門医、日本頭痛学会専門医

○プログラム終了の評価・認定方法:

日本神経学会専門医を取得することによってプログラム終了と評価。

○処遇・待遇

- ・初期の3年間は後期研修医として月額20万円が支給されます。当直を行った場合には1回につき9800円が支給されます。
- ・週1日(半日ずつであれば2日)の院外勤務が可能です。これに対する給与は勤務先より支給されます。
- ・健康保険、厚生年金、労災保険に加入します。
- ・4年目以降の処遇に関しては、病院の規定に従います。

<指導責任者内海助教授より>

当科は1日外来数平均約100名、新患数10名を午前・午後2診体制でおこなっており、入院ベッド数平均22床を運営しています。都区内西部地区神経疾患の拠点として機能しており、都内有数の診療規模であり、脳卒中を初めとする神経救急疾患も多数受け入れており、日本神経学会専門医の体験すべき疾患は十二分に網羅しています。

さらに院内だけの臨床検討会だけでなく、都内大学病院神経内科、有力大病院神経内科と合同して、ビデオフォーラム、症例検討会、勉強会が活発に行われており、当科もこれらの検討会に定期的に症例提示を行い、積極的に他施設との交流も図っています。